



あまみ

市議会だより

No.52
2019.03



平成30年12月26日 最終本会議／議場閉場式



第4回定例会

平成30年12月6日～12月26日

発行／奄美市議会

編集／奄美市議会だより編集委員会

〒894-8555

鹿児島県奄美市名瀬幸町25番8号

TEL：(0997) 52-1111

FAX：(0997) 52-2815

Eメール：gikai@city.amami.lg.jp

第4回定例会一般質問・・・・・・・・・・2P～6P

第4回定例会常任委員会の審査概要・・・・・・・・7P

第4回定例会の主な議案・・・・・・・・8P～9P

決算特別委員会の審査概要・・・・・・・・10P

第12回議会報告会・・・・・・・・11P～13P

活動報告・・・・・・・・14P～15P

お知らせ／あとがき・・・・・・・・16P

市政を問う



12月7日・10日・11日の3日間で14名の議員が市政全般にわたる施策の状況や方針などについて、市当局に問い質しました。要約をご紹介します。

左記の二次元バーコードを、スマートフォン等のバーコードリーダーで読み取るか、奄美市議会ホームページで一般質問の録画中継がご覧いただけます。

※質問順に掲載

議会録画配信



議会録画配信はこちら

1日目



- 1 元野 景一
- 2 橋口 耕太郎
- 3 三島 照
- 4 関 誠之
- 5 奥 輝人

2日目



- 1 渡 雅之
- 2 川口 幸義
- 3 松山 さおり
- 4 西 公郎
- 5 大迫 勝史

3日目



- 1 崎田 信正
- 2 安田 壮平
- 3 多田 義一
- 4 伊東 隆吉

中心商店街の賑いは戻るのか



元野 景一
(自由民主党)

問 後期基本計画が平成28年度より平成32年度とした10年計画が目前に迫り、これまでの取り組み及び検証をどう考えるか。

答 奄美市総合計画基本構想は、平成23年度から平成32年度までの10年間を計画期間とした将来目標を明らかにした本市最上位計画である。商工業振興の中で検証の結果は評価「やや不良」である。課題解決のため見直しや末広・港土地地区画整理事業と連動した商業施設の集積促進等に盛り込んだ取り組みを行う。

問 ついにメインの中央通りと奄美本通りの店舗が閉店をした。中心商店街の賑いは本当に大丈夫か。

答 平成29年3月に策定した中心市街地活性化基本計画が国の認定を受け、この計画に基づき各種事業に取り組んでいる。通り会連合会の中心メンバー、若手メンバーの新たな取り組み等もあり、市としても必要な支援、協力を行なって行く。



▲メインの中央通りと奄美本通りの店舗が閉店をした

【その他の質問】
○市民サービス、新たな行政課題について

小中学校へのクローラー設置 早期実現を



橋口 耕太郎
(公明党)

問 小中学校へのクローラー設置・早期実現を

答 国において補正予算が成立し、本市も小中学校および幼稚園へのクローラー設置を検討し、今回の補正予算に計上した。今後のスケジュールは、設計完了が4月末、その後速やかに工事発注し最終的な整備完了は来年度末を予定。

市町村で連携し取り組みを続けていく。

問 高卒ルーキー雇用奨励補助事業の執行状況は

答 状況は左記のとおり。

年度	事業所数	雇用者数	奨励金
29	5	8名	160万円
28	8	9名	180万円
27	4	6名	120万円

奨励金対象者に実態調査を行った結果、約65%が雇用継続しており、定着率は全国平均を上回っている。



ミサイル迎撃部隊とは

どういう部隊か



三島 照
(日本共産党)

問 ミサイル迎撃部隊とはどういふ部隊か

答 高射特科部隊は、対空戦闘部隊として侵攻する航空機を迎撃するとともに、広範囲にわたる迅速かつ組織的な対空情報活動を行う部隊をいふ。

問 ミサイル部隊の配備はいつ知ったのか

答 平成26年8月に大臣来庁時に、中距離地对空誘導弾を装備する部隊との説明があった。

問 市民の不安解消のための説明責任を

答 得られた情報については市民への周知を図ってまいりたい。

問 サン奄美の今後の見通しについて

答 当面は観光案内エリアにおいてサン奄美の加工商品と農産物の販売を行っていく。今後の運営については施設の委託業者と協議して進めていきたいと考えている。

【その他の質問】

○観光行政について、今後の台湾との人的交流の課題と方向性について
○子育て支援と教育行政について、遠足等バス代負担について



世界自然遺産登録の

再決定後の取組み



関 誠之
(社会民主党)

問 世界自然遺産登録の再決定後の取組み

答 奄美大島は、推薦区域の連結及び再編困難な小規模区域の除外などで、九つの区域を1区域に統合する。総合モニタリングシステムは、科学委員会WGでモニタリング計画の基本方針や作業日程(案)が示され取り組んでいる。12月に開催予定の科学委員会等で推薦書、包括管理計画等の推薦書類の修正意見を受け、来年2月に推薦書の再提出となる。

【その他の質問】

○笠利地区給食センター委託業務改善を
○住用町西仲間の冠水予防
○大型船の入港ができるよう沖防波堤の補修を

られた情報は議会に報告し、市民に周知を図る。

問 名瀬・住用地区学校給食センター果実・野菜類納入業者の選定等について

答 地元新聞2社に広告を掲載、8社を選定した。登録期限は今年3月末まで、新規登録は随時受け付ける。



▲総トン数 約 77,000トンの客船サンプリンセス

生産牛 たんかんの振興



奥 輝人
(自由民主党)

問 畜産基盤再編総合整備事業の要件の中で、飼料畑造成30a以上実施する事となっているが、荒地や原野、山林など確保が厳しい現状である。台風に近い牛舎の建設には必要不可欠な事業であり、土地造成の要件を緩和できないか

答 この事業は、自給飼料増産のための飼料畑の整備を行うのが目的で、施設規模に応じた飼料畑の造成を実施する事が条件である。

問 牛農家の担い手育成の為に、他町村やJAあまみと連携して、支援センター・研修施設等の建設は考えられないのか

答 提言の、広域的な畜産支援センターの建設

については、県、JAあまみ、構成市町村と各種課題や必要性を含め、十分に検討協議する必要がある。

問 たんかんの振興。奄美大島選果場の活用について、共販個販を含めて、計画出荷量250トンが実践できる取り組みについて

答 まずは、生産者ひとりひとりが当初計画の出荷量確保に向けて努力していただきたい。



▲節田地区生産農家の母牛の食事中

世界自然遺産について



渡 雅之
(無所属)

と協議するよう強く要望した。

問 UCNの延期勧告をどのように感じたか、またノラネコ問題やノヤギについてはどう考えるか

答 大変残念に感じた。しかし、自然遺産としての価値は認めており、引き続き関係機関と連携し2年後の登録を目指す。

次にノラネコ問題だが、前5年間の不妊去勢は837頭で、今年度も11月末で383頭にTNRを実施した。

ノヤギについては、前8年間で217頭を駆除し、又、今年度は20頭を予定している。ヤギは島料理の1つの食材であり、全国的なジビエブームの中、ノヤギを駆除した後、埋めるのは食材の損失であり、ジビエ料理として利用できるよう関係機関

問 障がい者雇用の現状は

答 法定雇用率は公共団体では25%となっているが本市は2.26%と下回っており、引き続き募集を行なう。又、不適切な案件は見直す考えである。

【その他の質問】

○災害時の危機管理について
○新庁舎設計変更及び土地の評価変更について



外国人労働者受け入れについて



川口 幸義
(自由民主党)

問 奄美市の外国人労働者受け入れについて

答 日本国内における外国人労働者については、平成29年には127万人を超え、10年前に比べると3倍近くになってきている。また、ハローワーク名瀬管内においては、平成29年は95事業所から届け出があり、外国人労働者数232名となっている。その多くは永住者(主に日系人)や配偶者が日本人といった身分に基づき在留資格で96人、41.4%、次いで建設会社等で働く技能実習の労働者が90人、38.8%となっている。

問 奄美ドクターヘリ導入後の救急搬送体制について、平成29年度搬送実績と導入による効果について

答 平成29年度の搬送実績は、奄美ドクターヘリ運航調整委員会の資料によると、十島から与論島まで全地域の出動要請は675件のうち493人を搬送している。ドクターヘリ導入後の効果として、ドクターが現場等出勤時に早期に患者に接触することで救命率の向上や後遺症軽減の効果として90.1%が効果ありと判定されている。



名瀬・住用地区 学校給食センターについて



松山 さおり
(自民新風会)

問 ウエイティング誘致助成事業の近年の実績は?

答 平成29年度は奄美市が10件、428千円、大和村が1件、41千円、瀬戸内町が1件、48千円となっており、宇検村と龍郷町については助成実績がない。平成30年度の11月時点での実績は奄美市が8件、298千円、龍郷町が2件、65千円となっており、宇検村と大和村、瀬戸内町についてはまだ助成実績がない。

問 名瀬・住用地区学校給食センターの2学期からの運用は?

答 10月には各小中学校で実施した試食会でアンケートを行い、献立については魚や野菜を多く取り入れていること、量や味付けについてもちょう

ど良いという評価を多数いただいている。

問 各小中学校での奄美の食文化を残すための取り組みについては?

答 給食の献立の中に島の食材を使った郷土料理を取り入れ、給食として提供しており、平成24年度に作成した「奄美の地場産力ルタ」も現在、市内の80%以上の学校で活用している。

【その他の質問】

○黒ごき留学について
○本場奄美大島紬の復興について



UCCN勧告観光施設及び観光開発計画について



西 公郎
(自民新風会)

問 UCCN勧告観光施設及び観光開発計画について

答 遺産センターについては、住用マングローブの敷地内に整備を予定している。平成31年度基本設計、平成32年度実施設計、平成33～34年度に建設の予定。

問 レンタカー事故防止について広域的なホスター作製について

答 事故防止に取り組む事で島民の安全確保と観光客の満足した旅行にも繋がることを考える。

ホスターを含めた啓発活動については関係機関と意見交換のうえ検討して参りたい。



学校の安全対策 食品ロス削減について



大迫 勝史
(公明党)

問 スシアラ、シラヒゲウ二等の放流事業支援についての年度毎の検証について

答 減少した事について、専門機関を含め検証した結果、海水温の変化や藻場の減少また、種苗放流を行っていない事など様々な要因が考えられる。

【その他の質問】

○林業振興への学有林管理体制について
○三儀山バイパスについての可能性
○東が丘団地迂回路についての見解

問 今年度の国の補正予算で危険ブロック塀の撤去、改修の予算付けがなされているが、本市に於ける学校施設や通学路の危険なブロック塀の調査状況と対応並びに今後の計画を示せ

答 大阪北部地震発生後に各学校へ調査を依頼し、学校調査を基に綿密に現地調査の結果、緊急性のある件については既定の予算で対応済みであり、現状としては緊急性のある危険ブロック塀はない状況である。通学路についても関係機関と連携を図りながら安心・安全な学校づくりを努めたい。

問 自治体で行う「フードドライブ」が増えつつあるが、本市でも取り組む考えはないか

答 平成30年2月に「まなび・福祉フェスタ」の中で一度、開催し、内容をHPでも紹介しており、不用になった食品等の相談や受付を担当課で行う旨を周知している。今後もし主催のイベント等で持続的な啓発活動と併せて、どのような取り組みができるのか検討する。



▶文化センターで行なわれたフードドライブの様子

消費税増税時の低所得者対策は



崎田 信正
(日本共産党)

問 来年10月に予定されている消費税増税で低所得者対策は

答 国の動向をしっかりと見極め、市内事業者や市民生活への影響・実態などを踏まえ、必要な対応等について検討したい。

問 佐大熊地区の買い物物不便への対策は

答 民間事業者による移動販売や宅配サービスの活用、長寿応援券の活用、バス事業者とも連携を図りながら、公共交通機関の利便性向上に向けた取り組みを検討し、少しでも買い物不便の解消に努めたい。

問 市営住宅の現状と対策は

答 本年度から空き家解消として工事着手に取り組んでいる。3～5年後には、空き家待機者の方や住替え希望者の方の要望は、ほぼ解消されていくと思われる。玄関ドアの修繕及びバルミサツへの取替は、建替え及び維持保全の判断を行い、ストック改善事業等で検討していきたい。置替えは、今後とも入居者の負担で対応していただきたい。

【その他の質問】

○子ども貧困対策について



奄美の観光のさらなるレベルアップを！



安田 壮平 (自民新風会)

問 台風24号で被災した公共施設のうち、直近3年間で建設されたものは

答 復旧費用が大きいものは、朝戸の学校給食センター3085万円、住用三太郎の里1102万円、住用農林産物加工センター643万円など。

問 根本的な防風対策が必要ではないか

答 給食センターは全ての窓に雨戸を設置する。三太郎の里と加工センターは強化ガラスと雨戸を設置し、防風林や防風ネットも検討する。

問 奄美大島DMOが掲げる中長期観光戦略の進捗は

答 滞在日数・観光消費額・観光満足度の3つの成果指標を設定し、各種事業に取り組みている。



行政としても多様な関係者と協力しながら主体的に関わっている。

問 金作原生林にバイオトイレを設置してはどうか

答 観光客のニーズ等を考慮して検討したい。

問 観光客の路線バス利用率を向上させるには

答 リムジンタイプの車両を2台導入し、一日フリーパスを発行した。観光地を巡る周遊バスやA1を活用した自動運転車についても研究・検討したい。

（A1とは…人工知能のこと）

【その他の質問】

○新地方公会計制度について

朝日小学校区での学童教室の増設できないのか



多田 義一 (自民新風会)

問 朝日小学校区に、自衛隊隊員の官舎が設置され、4月より隊員家族が校区内に転属してくるが、一番生徒数の多い朝日小学校の対応は可能か。また、学童教室の増設はできないのか

答 1校区に集中しないように他校区へも平均して振り分けできないか依頼している。万が一、学級数が増える場合には、既存施設での調整で対応したいと考えている。学童教室については、朝日小学校区は、放課後児童クラブの利用者が多いところで、自衛隊関係者の児童増加が見込まれるなか、教室の増設に取り組んでいかなければならぬことは認識している。今後、児童数の推移を見

据えた上で、教室の確保に取り組んでいきたい。

問 古見方地区の今後について

答 農業振興のための事業導入、農家として安定していける様に積極的に支援していきたい。また、国指定史跡、小湊フワガネク遺跡については、保存活用に向け計画策定し古見方活性化に繋げたい。

【その他の質問】

○大島本島の観光における連携について

○学童教室の増設について



国道整備、おがみ山バイパス、和瀬(城)バイパスについて



伊東 隆吉 (自由民主党)

問 県は国道58号おがみ山バイパス事業再開を表明今後の計画の推移は

答 来年度からの事業再開に向けた手続きの一つとして、説明会を実施し事業対象の地権者や住民が出席した。今後のスケジュールについては平成31年4月以降、トンネル等の設計の修正や事業用地の買収を進め、その後工事着手の予定」供用開始時期については、現時点では示せない。今後事業に着手する事で、渋滞緩和等の効果が図られ機能的で一体性のある魅力的なまちづくりに資するものと考えている。

問 住用和瀬(城)バイパス道路について

答 当該地区は地番が特定できず、所有者不明土地の特別措置法適用が困難となっており、2020年に予定の土地基本法や民事基本法等の見直しを行うとしており、今後の国の動向を注視したい。

問 奄美一屋久島航路の一年間の試験運行について

答 同航路の必要性や期待値の高さは十分認識しており、次年度以降の支援も関係機関と検討する。

【その他の質問】

○自衛隊駐屯地建設の経済波及効果について

○東が丘団地への災害市道整備について



第4回定例会 常任委員会

審査概要

12月14日 文教厚生委員会
12月16日 産業建設委員会
12月17日 総務企画委員会

上記の日程で議案について審査しました。
委員会の審査について一部ご紹介します。

総務企画委員会

奄美市議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について

選挙運動用ビラの作成に要する経費の公費負担に係る所要の規定を追加するためのもの

問 ビラの枚数限度額はあるのか

答 市長が1万6千枚、議員が4千枚で単価は双方とも7円51銭。

奄美市地と知の交流拠点施設条例の制定について

奄美市地と知の交流拠点施設は、学校や文教施設が近隣にある立地条件を生かし、奄美地区を中心として地元住民の世代間交流による「地域」と「知恵」の交流や、地元学生と各種団体等との「地域」と「知識」の交流を促進することを目的とした施設である。

工事請負契約の変更契約の締結について

奄美市本庁舎新築工事において間接費の設計変更に伴い変更契約を締結するため。

問 何人の地区外労働者が現場で働いたか

答 期間中の延べ労働者は約3万4千人、このうち地区外労働者は約9250人、約26%。



▲奄美市役所新庁舎模型

産業建設委員会

森と水のまち住用観光プロジェクト事業工事請負費

▼100万円

中核施設整備事業に伴い支障となる水道管を移設するための工事請負費

問 中核施設整備事業の将来計画は

答 31年度からの計画として遊具広場を設置し、施設一帯が子どもたちのレクリエーションの場となり、観光的な交流の場になるよう整備を進めたい。

公共下水道事業費

▼500万円

工事請負費

東ヶ丘の法面崩壊の災害復旧工事に伴い、支障となる汚水管を移設する費用として増額計上



▲台風24号の被害により法面が崩壊した市道小浜28号線

和瀬バイパス（国道58号線）奄美住用町城地区の早期供用開始に関する請願

▼採択すべきもの

住用町の和瀬バイパスにおいて、城地区の字図混乱（所有者不明の土地が多いこと）により、トンネルの出口に急カーブがあることや集落の中を通る道路が狭く、非常に危険という点で、問題解決を図るよう県に要望するもの

文教厚生委員会

教育施設冷房設備整備費

▼11億1100万円

幼稚園・小学校・中学校に空調設備を設置するための委託料と工事請負費

問 電気代の見直しは

答 普通教室が1日6時間を95日間使用して570時間、特別教室は190時間として計算した場合、電気代が約950万円これに最大需要電力に応じた基本料金が約850万円増額することを合わせると、年間約1800万円と試算している。



障害者福祉費 扶助費

▼3億2498万3千円

うち、介護給付等事業費2億3964万9千円は、就労移行支援、就労継続支援A型・B型、生活介護の増額によるもので、障害児給付等事業費7803万4千円は、放課後デイサービス・児童発達支援の増額によるもの。

問 障害者福祉費の扶助費の伸びの特徴について

答 介護給付等事業費は昨年度の決算と比較して108%の伸びを見込んでいるが、中でも就労継続支援などの訓練等給付に関する支出が伸びており、特に精神疾患を有する利用者への給付が増えている。

第4回定例会の主な議案

*付託委員会の一般会計決算等審査特別委員会は「一般会計」、特別会計決算等審査特別委員会は「特別会計」と記載しています。

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて（専決第9号 平成30年度奄美市一般会計補正予算（第4号）について）	承認	本会議
議案第93号	平成30年度奄美市一般会計補正予算（第5号）について	原案可決	全委員会
議案第94号	平成30年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）について	原案可決	文教厚生
議案第95号	平成30年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	文教厚生
議案第96号	平成30年度奄美市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）について	原案可決	産業建設
議案第97号	平成30年度奄美市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	産業建設
議案第98号	平成30年度奄美市水道事業会計補正予算（第2号）について	原案可決	産業建設
議案第99号	奄美市議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第100号	奄美市地と知の交流拠点施設条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第101号	奄美市長及び副市長の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第102号	奄美市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第103号	工事請負契約の変更契約の締結について	原案可決	総務企画
議案第104号	奄美市地と知の交流拠点施設の指定管理者の指定について	原案可決	総務企画
議案第105号	奄美市屋仁川駐車場の指定管理者の指定について	原案可決	産業建設
議案第106号	奄美体験交流館の指定管理者の指定について	原案可決	文教厚生
発議第6号	和瀬バイパス国道58号奄美市住用町城地区の早期供用開始に関する意見書の提出について	原案可決	本会議
発議第7号	体育館への空調設備設置及び学校運営費の増額を求める意見書の提出について	原案可決	本会議
発議第8号	地元企業優先発注に関する決議	原案可決	本会議

○ 前定例会からの継続審査

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
議案第81号	平成29年度奄美市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	一般会計
議案第82号	平成29年度奄美市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計

▽ 左ページへ続く ▽

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
議案第 83 号	平成 29 年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第 84 号	平成 29 年度奄美市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第 85 号	平成 29 年度奄美市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第 86 号	平成 29 年度奄美市訪問看護特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第 87 号	平成 29 年度奄美市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第 88 号	平成 29 年度奄美市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第 89 号	平成 29 年度奄美市ふるさと創生人材育成資金特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第 90 号	平成 29 年度奄美市と畜場特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第 91 号	平成 29 年度奄美市交通災害共済特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第 92 号	平成 29 年度奄美市水道事業会計の利益処分及び決算認定について	原案可決及び認定	特別会計

請願・陳情の状況

受理番号	件名	提出者	結果	所管委員会
請願第3号	和瀬バイパス（国道 58 号線）奄美市住用城地区の早期供用開始に関する請願	城地区区長 脇田 正人	採択	産業建設
陳情第6号	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情	奄美民主商工会 事務局長 岡田 美幸	不採択	総務企画
陳情第7号	おがみ山・「日本復帰記念観光公園」（仮称）の整備に関する陳情	奄美群島日本復帰 65 周年記念民間団体実行委員会 委員長 大津 幸夫	継続審査	総務企画
陳情第8号	教室・体育館への空調設備設置を求める陳情	新日本婦人の会奄美支部 支部長 荒田 まゆみ	一部採択	文教厚生
陳情第9号	防衛省へ「奄美市へのミサイル部隊配備計画」について説明会を求める陳情	戦争のための自衛隊配備に反対する奄美ネット 代表 城村 典文	継続審査	総務企画

議会をご覧になりませんか？



奄美市役所は平成 31 年 2 月に新庁舎に移転しました。新議場で行う最初の議会です。（定例会の予定は P16 に掲載）

「傍聴」

議会は傍聴できます。（事前連絡は不要です）奄美市役所名瀬庁舎 8 階にお越しください。

「議会中継」

議会の様子をインターネットで生中継しています。

奄美市議会 議会中継

H29 決算に関する特別委員会

委員会で行なわれた審査の一部をご紹介します。

一般会計決算等審査

民生費 社会福祉費について

問 社会福祉総務費の臨時福祉給付金の支給率は

答 対象者は28年度と同じで12,717名で、その対象者に対する支給率は98.1%となっている。

問 社会福祉協議会への貸付金の現状について

答 29年度は一般貸付2件、特別貸付42件、合計1,091,600円。平成27年度から件数、貸付額ともに伸びている。

総務費 ふるさと納税等活用事業費について

問 あやまる岬観光公園遊具整備事業の備品購入費について

答 あやまる岬観光公園に配備しているファンシーサイクルの更新で、10台の費用合計400万円を支出している。自転車というより遊具であるため、1台当たりの値段が22万から39万と高額になっている。

総務費 地方創生推進費について

問 大学等設立可能性調査事業について

答 平成28年度から大学設立等可能性調査という調査事業を実施。平成29年度に有識者会議を実施し意見具申があった。短期的な取り組みとして複数の大学と自治体が連携して設置する共同キャンパスなどの計2つの提案があった。

問 着地型旅行商品造成事業について

答 大きく5つの事業を実施しており、まち歩きの需要把握や、旅行エージェントを活用した笠利地区における体験ツアーの実施、WEBページ「あまみつけ」でのPRの実施等をしている。

労働費について

問 シルバー人材センター運営事業で会員一人当たりの受注件数について

答 会員数に対して仕事に就いた率は74.2%で、受注件数2,266件の延べ人数は19,373人で同じ方が何度も仕事をしているケースがある。今後講習会等でシルバーの方の活躍の場を広げたい。

特別会計決算等審査

平成29年度奄美市ふるさと創生人材育成資金特別会計歳入歳出決算認定について

問 現年度分と過年度分合わせて3,700万円とあるが、何名分で、返済はどうなっているのか

答 企業奨学金分で4名、滞納金額で189万5,000円、教育奨学金で117名が滞納となっており、電話での呼び掛けや文書の発送、今年からは滞納に力を入れていくということで訪問等を3支所で行っている。

平成29年度奄美市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

問 下水管の耐震化率は

答 耐震化の工事を24年度から行っており、名瀬の下水道管は約139キロあり、現在まで行っている耐震延長は893メートルで耐震化率は0.6%となっている。

平成29年度奄美市交通災害共済特別会計歳入歳出決算認定について

問 加入率が低下している要因は

答 年代別に分析をすると20代から60代の加入率が低いという結果が出ており、民間が保険に入っているのが加入していないという見方もしているが、市民の相互の助け合いの制度ですので、広報活動を続けていきたい。

平成29年度奄美市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

問 1人当たりの医療費の疾病において、どのような病気が多いのか

答 29年度で、入院、外来のみの内訳になるが、全体で39億円の医療費に対し、多いものが循環器系の疾患、高血圧等も含め5億6,000万円を占めており、次に精神及び行動の障害が5億2,000万円、次に新生物がんが5億4,000万円の3つで約16億円程度を占めており、他は人工透析や整形外科関係がある。

第12回議会報告会

奄美市議会では、開かれた議会をめざして市民の皆さまに議会の活動状況をお知らせし、皆さまからのご意見を市政に反映させるために議会報告会を実施しています。皆様からの貴重なご意見は、今後の議会報告会のあり方や議会運営の参考とさせていただきます。第12回議会報告会は、11月15日に市内4か所で開催されました。

名瀬会場

奄美文化センター

担当議員

大迫勝史・元野景一・戸内恭次
崎田信正・与勝広・奥輝人



参加者数 **18**名

大熊町集会場

担当議員

川口幸義・竹山耕平・橋口耕太郎
安田壮平・林山克巳・渡雅之



参加者数 **18**名

住用会場

住用総合支所

担当議員

西公郎・関誠之・松山さおり
里秀和・伊東隆吉・師玉敏代



参加者数 **31**名

笠利会場

笠利総合支所

担当議員

三島照・多田義一・栄ヤス工
平川久嘉・津畑誠・橋口和仁



参加者数 **22**名



行政当局からの回答

市民の皆様からいただいたご質問やご意見について行政当局からの回答をご紹介します。

Q 1 小中学校に勤務しているが、先日オスプレイが低空飛行する場面に遭った。子ども達も非常に怖がっていた。このようなことが3回あった。安心したいがために、訓練等があるのであれば事前に訓練の内容を知らせて欲しいと思うが、どうか。

A. 航空機の飛行につきましては、航空法や同法施行規則に基づき国土交通省の許可を得ていることから、通常、事前連絡はないところです。そのような中、米軍機にかかる飛行ルート等の詳細につきましては、安全保障上の問題であることから公表されておらず、本市においても事前の情報については把握できない状況でございますが今後も国・県・関係機関と連携を図り、得られた情報については提供してまいりたいと考えておりますのでご理解をお願いいたします。

Q 3 川内と津名久トンネル着工をなんとか実現して欲しい。南部議員大会でも可決されたのに未だ実現されていない。当時の県議会議員にもお願いしていたが、議案が廃案になった。集落からも要望を提出しようと考えている。

A. 平成6年に大和村と旧住用村で「大島本島大和村・住用村間県道新設促進協議会」が発足し、平成8年に県議会定例会に陳情を行っていますが、継続審査（審査未了）となった経緯がございます。まず市として、地域にとって重要かつ生活に密着した道路整備を優先的に実施しており、大和村・住用町間のトンネル開設については、今後検証していく必要があると存じますので、ご理解頂きますようお願いいたします。

Q 2 区画整理をしたので城（ぐすく）のうしろに道路を通すのは難しいが、事故が多いので道路を作って欲しい。このことを訴えてから10年位になるので早く作って欲しい。

A. 県が平成4年から13年にかけて国道58号和瀬バイパス工事に着手していますが当地区は字図混乱地域であり、用地取得が困難という事で工事が中断しております。奄美市としても地籍調査事業や協議会を通じての解決や、中山間事業で解消するという方法について検討がりましたが、解消には至っておりません。また、法務局からは集団和解方式という手法があるとの見解が示されたが、相続人全体から100%の同意を得られることは不可能に近いということで、現在も字図混乱が続いている状況です。また、国で所有者不明の特別措置法ができたことから、国や県の動向を見据えていく必要があると存じますので、ご理解頂きますようお願いいたします。

Q 4 屋仁集落は県道をバイパス化しており、バスは集落内を通るが市道の修理はなされているのか。側溝のふたに段差があり、子どもは転んだり、高齢者にも危ない為、検証がされているのかを伺う。他の集落もあると思うが、集落内道路の維持管理がされているのか。

A. 市道のパトロール時に確認した箇所は随時対応を行っている状況ですが、地域において補修を要する危険な箇所を発見した際は、ご一報くだされば随時対応いたしますのでご連絡いただければと思います。

その他、会場で出されたご質問やご意見及びアンケート結果については、奄美市議会ホームページで掲載しておりますのでご覧下さい。





議会報告会当日のアンケートから

Q 1 回答者の男女比・年齢層



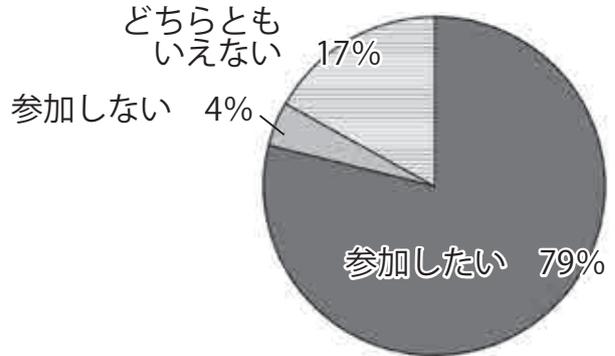
男女比

男性： 58人
女性： 10人
無回答： 8人

年齢層

20代： 1人
30代： 7人
40代： 5人
50代： 20人
60代： 21人
70代： 15人
80代以上： 5人
無回答： 2人

Q 2 次回も参加したいですか



Q 3 議会報告会でどのような情報が知りたいですか？

- ・奄美市の財政状況や将来像
- ・議員活動や所管事務調査の報告
- ・市民の安心安全に関わる情報
- ・生活・子育てに関すること

Q 4 奄美市議会に対して望むことは何ですか？

- ・これからも報告会にとどまらず、意見交換の場を増やして欲しい。
- ・議会が身近に感じる施策をさらにすすめて欲しい。
- ・利益誘導でなく、住民の為になることを。
- ・市民からの目安箱を作ってほしいと思います。
- ・議員さんがもっと身近になってほしい。
- ・「〇〇問題について意見を聞く会」など、たくさん開いてもらいたい。
- ・奄美市全戸に配布される議会だよりの工夫（紙面）
- ・議会傍聴者の少ない現状の打開策。

Q 5 議会報告会に参加した感想を教えてください。

- ・わが市がどうあるべきか、建設的意見を提案して前向きに明るい話題を展開して欲しい。
- ・各地区より色々な意見があり、それに対して議員さんより丁寧な説明があり、非常に勉強になりました。
- ・せっかくだから地域の意見、要望が多くできるようにしてもらいたい。
- ・所管事務調査の内容について記載されており理解することができたが、議員のみなさんの感想を聞きたいと思った。
- ・議会議員は、市民の代表なので、市民の立場になった活動を願う。
- ・報告会の内容（質問、答弁）毎年毎年、充実しているよう感じます。

皆さまから貴重なご意見やご要望をいただきました。今後の議員活動の中で有意義に活用させていただきます。議会報告会へ参加していただきありがとうございました。



政策立案推進会議



市議会では議会活性化の一環として、平成 30 年度より政策立案推進会議（座長竹山耕平、委員 7 名）を発足し、本市における問題や課題に対し調査研究を行うこととしております。今回は「空き家等への対策」をテーマとし、関係機関へのヒアリングや地域代表者へのアンケート、現場視察などを行った上で政策提言書を作成、12 月 6 日に師玉議長より朝山市長へ提出しました。

提言の主な内容は、○特別措置法に係る協議会の設置や空家等対策計画策定への早期着手 ○空き家実態調査の実施、調査結果に係るデータベースの整備 ○地域や関係機関等との連携強化 ○空き家の除却をはじめとする費用等への支援 ○空き家バンク制度の更なる活用などを提言事項とし、今後の施策に対しての提言を行いました。この政策提言は奄美市議会として初めての取組みとなります。

文教厚生委員会 視察



【 キッズケアルーム にこぴあ 】



【 放課後デイサービス ヒマワリクラブ 】



【 シエル 名瀬教室 】

平成 30 年 12 月 14 日（金）に文教厚生員会で放課後等デイサービス事業所の視察を行いました。

【 視察先 】

- ・放課後デイサービス ヒマワリクラブ
- ・シエル 名瀬教室
- ・キッズケアホーム にこぴあ

【 視察内容 】

放課後等デイサービスの現状と各事業所の状況や課題について、管理者の方々から説明を受け、その後、意見交換を行いました。

議員定数等調査特別委員会



議員定数等調査特別委員会最終報告書

本市議会では平成 29 年 7 月に同特別委員会（委員長与勝広，委員 23 名）を設置し、同年 9 月から 30 年 12 月まで計 14 回にわたり検討・協議を行いました。まず議員定数について検討し行財政改革の視点だけでなく、人口推計、市政の現状と課題、将来の予測と展望を考慮するとともに、類似市との比較検討を行い、パブリックコメントで市民の意見を聴いたうえ、総合的に判断し、2 名削減の 22 名を定数とすることを決定し、条例改正案を提案し可決されました。

また、議員報酬については、各党派・各委員から報酬に関する意見を聴取し、議会の議員報酬に関する各意見と基本的な考え方である基本的意見をまとめ、特別職報酬審議会での審議の参考となるよう市長へ報告致しました。

議場閉場式



本議場は、昭和 42 年に旧名瀬市の議会議場として完成し平成 18 年 3 月 20 日から旧名瀬市、旧住用村、旧笠利町の合併に伴い奄美市の新議場として生まれ変わりました。

51 年という長きにわたり市政運営の意思決定をする厳粛な場として様々な事案や諸問題をめぐり白熱した議論が繰り広げられて参りました。合併当初の奄美市議会は、43 名の議員からスタートし、平成 19 年の一般選挙から 26 名、平成 23 年の選挙から 24 名となり、現在までに延べ 118 名の議員で運営され、さらに平成 31 年の市議会議員選挙からは 22 名議員で構成されることとなります。

市民の負託を受けた私ども議員にとりまして、この議場は議会活動の要となるところであり常に身の引き締る思いでこの場に臨んで参ったところでございます。

平成 30 年第 4 回定例会をもって、本議場はその長い歴史に幕を閉じることとなりますが、これまで、歴史の一部始終を見守り続けました議場に心から敬意と感謝を申し上げますとともに、新庁舎においても更なる奄美市発展のため取り組んで参ります。（議長挨拶より引用）

議会の動き

《 1 1 月 》

- 6日 県市議会議長会臨時総会(東京都)
- 11日 第11回奄美市民体育祭
- 13日 市役所本庁舎建設工事現場見学会
- 14日 市町村議会議長会(与論町)
- 15日 議会報告会
- 19日 政策立案推進会議
- 28日 議会運営委員会
- 30日 議員定数等調査特別委員会

《 1 2 月 》

- 6日 第4回定例会開会・全員協議会
政策提言書提出
議員定数等調査特別委員会
- 7日 一般質問
- 10日 一般質問
- 11日 一般質問
議員定数等調査特別委員会
- 13日 本会議・全員協議会・会派代表者会
- 14日 常任委員会(文教厚生)
- 17日 常任委員会(産業建設)
- 18日 常任委員会(総務企画)
- 19日 議員定数等調査特別委員会
議会運営委員会
議会活性化検討委員会
- 26日 最終本会議
議員定数等調査特別委員会報告書提出

《 1 月 》

- 3日 3地区成人式
- 9日 大島郡町村議会議長会・
正副議長研修会
- 17日 県市議会議長会臨時総会(鹿児島市)
- 18日 県市議会議員研修会
- 22日 九州市議会議長会第4回理事会(別府市)
- 24日 議会運営委員会
- 28日 議会活性化検討委員会
- 29日 政策立案推進会議
奄美市議会議員研修会
- 31日 奄美・やんばる広域圏交流推進協議
会総会(名護市)

第1回定例会の予定

2 February 2019

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19 開会	20 常任委員会	21	22	23
24	25 本会議	26	27	28	1	2

3 March 2019

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
24	25	26	27	28	1	2
3	4	5 一般質問	6	7	8	9
10	11 一般質問	12 本会議	13	14 予算委員会	15	16
17	18 予算委員会	19	20	21	22	23
24	25 最終 本会議	26	27	28	29	30

市議会だより

編集委員会

委員長 林山 克巳
 副委員長 松山 さおり
 委員 元野 景一
 嶋田 信正
 関 誠之
 大迫 勝史
 津畑 誠



編集あとがき

昭和42年3月に市制20周年を祝い建設された旧庁舎がその役割を終えた。新たに3市町村合併のシンボルとして地上9階建ての新庁舎が昨年12月に完成し、執務が開始されています。昭和40年10月の「市政だより」によると「いよいよ新庁舎建設」工費2億4千8百万・地下1階地上6階、42年春完成となっていました。当時の名瀬市の当初予算額が12億8百333千円です。奄美市の平成30年度の当初予算額は338億2009万1千円で、約26倍の予算規模です。新庁舎の建築費は約47億で、まさしく50年の歳月を感じます。

ドイツの劇作家シラーは時間の進み方について「時の歩みは三重である。未来はためらいつつ近づき、現在は矢のように速く飛び去り、過去は永久に静かに立っている」と描写しています。この言葉のように、私たち議員も新しい議場で、現在と過去と未来、それぞれを見つめたくて考察し、市民福祉向上のため、おおいに議論して参ります。

(関 誠之)